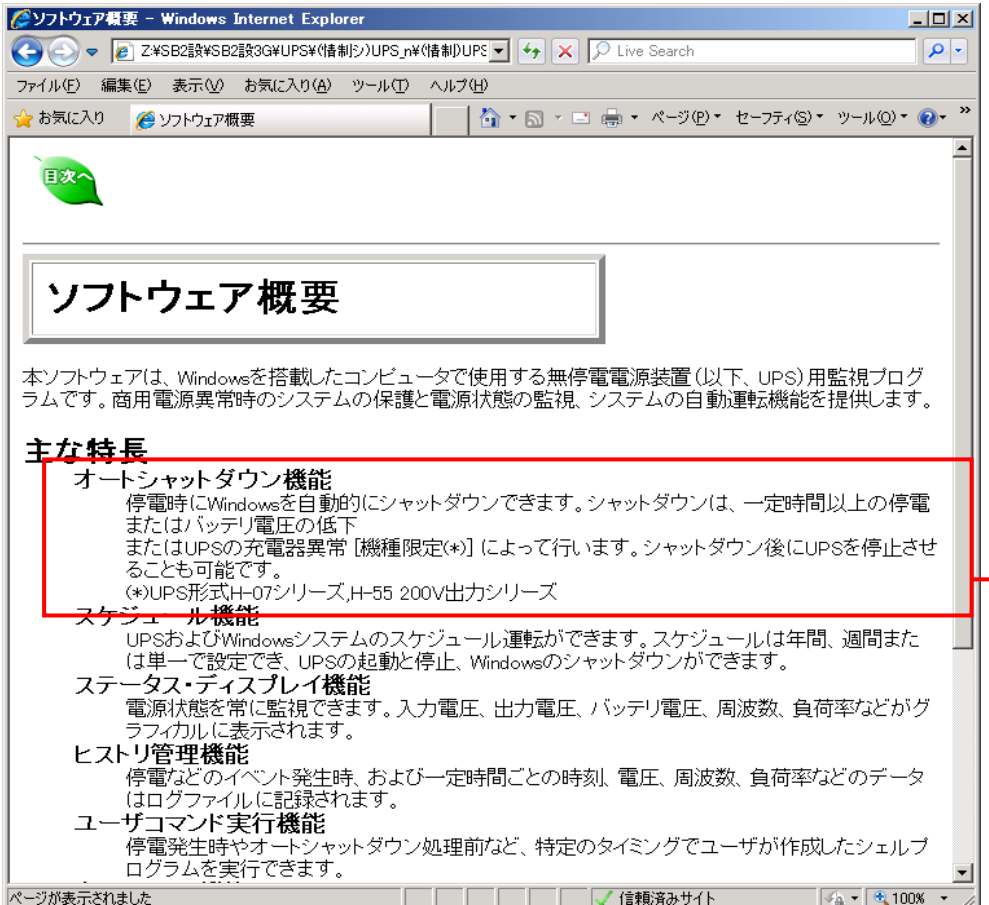
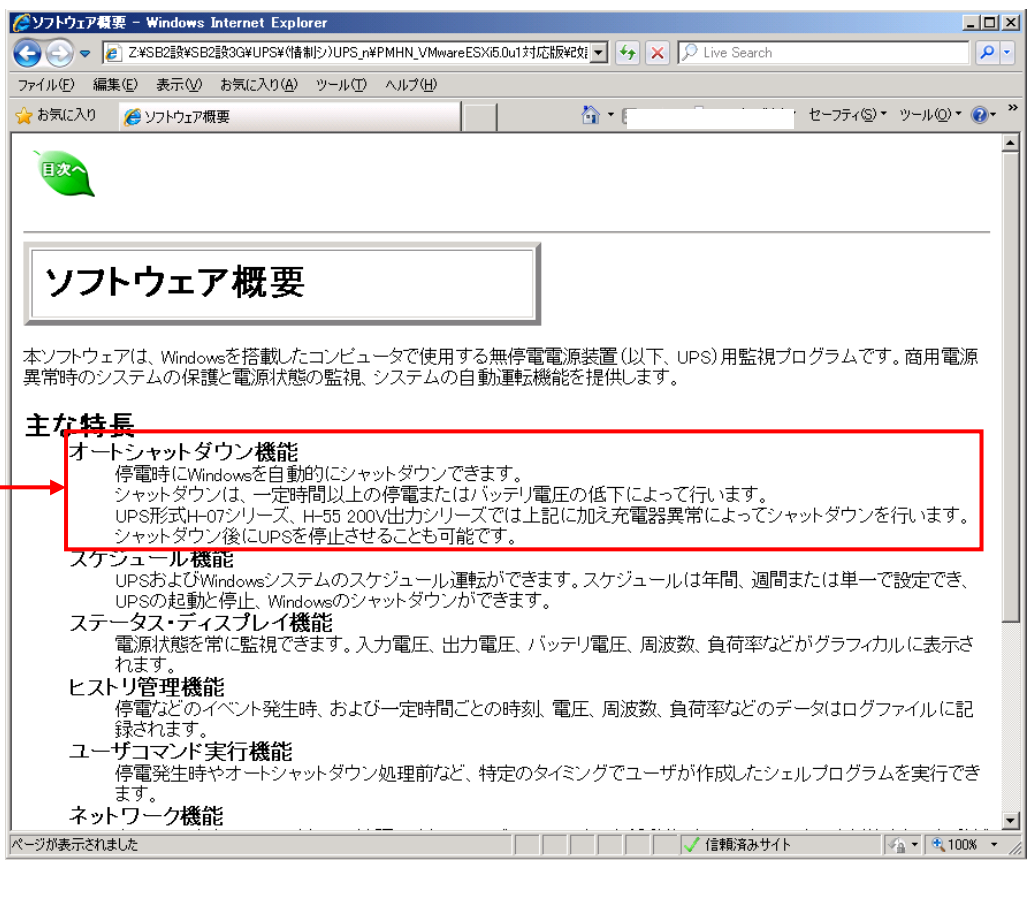


UPS管理ソフト PowerMonitor HN CD内ユーザーズガイド お詫びと訂正

このたびは、UPS 管理ソフト PowerMonitor HN をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。UPS 管理ソフト PowerMonitor HN CD 内に納めているユーザーズガイド(Windows 版/UNIX 版)に訂正箇所があります。謹んでお詫び申し上げます。

1. ユーザーズガイド(Windows 版)

誤	正
<p>「ソフトウェア概要」の項</p>  <p>ソフトウェア概要</p> <p>本ソフトウェアは、Windowsを搭載したコンピュータで使用する無停電電源装置(以下、UPS)用監視プログラムです。商用電源異常時のシステムの保護と電源状態の監視、システムの自動運転機能を提供します。</p> <p>主な特長</p> <p>オートシャットダウン機能 停電時にWindowsを自動的にシャットダウンできます。シャットダウンは、一定時間以上の停電またはバッテリー電圧の低下またはUPSの充電器異常 [機種限定(*)] によって行います。シャットダウン後にUPSを停止させることも可能です。 (*)UPS形式H-07シリーズ,H-55 200V出力シリーズ</p> <p>スケジュール機能 UPSおよびWindowsシステムのスケジュール運転ができます。スケジュールは年間、週間または単一で設定でき、UPSの起動と停止、Windowsのシャットダウンができます。</p> <p>ステータス・ディスプレイ機能 電源状態を常に監視できます。入力電圧、出力電圧、バッテリー電圧、周波数、負荷率などがグラフィカルに表示されます。</p> <p>ヒストリ管理機能 停電などのイベント発生時、および一定時間ごとの時刻、電圧、周波数、負荷率などのデータはログファイルに記録されます。</p> <p>ユーザコマンド実行機能 停電発生時やオートシャットダウン処理前など、特定のタイミングでユーザが作成したシェルプログラムを実行できます。</p>	<p>「ソフトウェア概要」の項</p>  <p>ソフトウェア概要</p> <p>本ソフトウェアは、Windowsを搭載したコンピュータで使用する無停電電源装置(以下、UPS)用監視プログラムです。商用電源異常時のシステムの保護と電源状態の監視、システムの自動運転機能を提供します。</p> <p>主な特長</p> <p>オートシャットダウン機能 停電時にWindowsを自動的にシャットダウンできます。シャットダウンは、一定時間以上の停電またはバッテリー電圧の低下によって行います。UPS形式H-07シリーズ、H-55 200V出力シリーズでは上記に加え充電器異常によってシャットダウンを行います。シャットダウン後にUPSを停止させることも可能です。</p> <p>スケジュール機能 UPSおよびWindowsシステムのスケジュール運転ができます。スケジュールは年間、週間または単一で設定でき、UPSの起動と停止、Windowsのシャットダウンができます。</p> <p>ステータス・ディスプレイ機能 電源状態を常に監視できます。入力電圧、出力電圧、バッテリー電圧、周波数、負荷率などがグラフィカルに表示されます。</p> <p>ヒストリ管理機能 停電などのイベント発生時、および一定時間ごとの時刻、電圧、周波数、負荷率などのデータはログファイルに記録されます。</p> <p>ユーザコマンド実行機能 停電発生時やオートシャットダウン処理前など、特定のタイミングでユーザが作成したシェルプログラムを実行できます。</p> <p>ネットワーク機能</p>



EMA0014472-A

「1. インストール」－「セットアップ」の項

7. [次へ]ボタンをクリックして、ハードウェアをインストールします。詳しくは、Windowsのネットワーク設定ヘルプをご覧ください。

8. コンピュータを再起動します。

注意 本ソフトウェアを実行するには、ネットワークの設定がされている必要があります。

インストール

操作手順

1. コンピュータを起動し、ユーザ名「Administrator」でログインします。
2. 本ソフトウェアのCDをドライブに装着します。
3. コントロールパネルから「プログラムの追加と削除」→「プログラムの追加」を選択し、信頼済みサイトをインストールします。

「1. インストール」－「セットアップ」の項

7. [次へ]ボタンをクリックして、ハードウェアをインストールします。詳しくは、Windowsのネットワーク設定ヘルプをご覧ください。

8. コンピュータを再起動します。

注意 本ソフトウェアを実行するには、ネットワークの設定がされている必要があります。

追加

注意 本ソフトウェアがUPSとの通信に使用可能なIPアドレスが複数ある場合は、使用するIPアドレスはオペレーティングシステムが任意に決定します。オペレーティングシステムが任意に決定した複数のIPアドレスを使用して、本ソフトウェアがUPSと通信を行ってしまうとUPS側で不定ホストが発生します。UPSは不定ホストが存在すると、停電時やスケジュール停止の際のUPS出力停止が正常に動作しません。コンピュータにはUPSと通信可能なIPアドレスが1つとなるようにネットワークを構築する必要があります。

「4. 動作条件の設定」－「通信ポートのページ」の項

動作条件設定

Agent IP アドレス: 192 168 10 1

GET コミュニティ名: pwrmon

SET コミュニティ名: public

ポート番号: 161

(注)変更された場合は、サービスを再起動してください

OK キャンセル

注意

- Agent IPアドレス
UPSのIPアドレスを指定しますが、本ソフトでは、空欄にしてください。
本ソフトでは、「マルチUPS環境設定」の「UPS一覧の設定」でUPSのIPアドレスを指定してください。

32ビット版の場合は、Agent IPアドレスの値を変更できません。

「4. 動作条件の設定」－「通信ポートのページ」の項

動作条件設定

Agent IP アドレス: 192 168 10 1

GET コミュニティ名: pwrmon

SET コミュニティ名: public

ポート番号: 161

(注)変更された場合は、サービスを再起動してください

OK キャンセル

注意

- Agent IPアドレス
本ソフトでは、「マルチUPS環境設定」の「UPS一覧の設定」でUPSのIPアドレスを指定していますので「192.168.10.1」から変更しないでください。

32ビット版の場合は、Agent IPアドレスの値を変更できません。

「4. 動作条件の設定」－「○履歴のページ」の項

動作条件の設定 - Windows Internet Explorer

file:///Z:/SB2設/SB2設3G/UPS/(情制シ)UPS_n/(情制)UPSマニュアル/2012年/ Live Search

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

お気に入り 動作条件の設定

動作条件設定

スクリプト | 出力コントロール | 自己診断 | UPS | パスワード | SNMPトラップ | メール | ライセンス | 通信ポート | 停止処理 | スケジュール | ブロードキャスト | ヒストリ

UPS 監視時間間隔 (60-99999) [秒]: 900

ログの記録
 有効 無効

ファイル名: C:\powermgr\upslog

記録期間: 1 ヶ月間

(注)変更された場合は、サービスを再起動してください

OK キャンセル

- **UPS監視時間間隔:**
UPSの状態を監視する時間間隔を設定します。デフォルトは900秒です。(有効設定:約10秒以上)
- **ログの記録:**
ログを記録するとき「有効」に、記録しないとき「無効」に設定します。
- **ファイル名:**
ログを記録するファイル名が表示されます。変更はできません。
- **記録期間:**
ログの記録期間を設定します。この記録期間を超えた古いログは削除されます。

ページが表示されました 信頼済みサイト 100%

「4. 動作条件の設定」－「○履歴のページ」の項

動作条件の設定 - Windows Internet Explorer

file:///Z:/SB2設/SB2設3G/UPS/(情制シ)UPS_n/PMHN_VMwareESX6.0.1対応/ Live Search

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

お気に入り 動作条件の設定

動作条件設定

UPS 監視時間間隔 (60-99999) [秒]: 900

ログの記録
 有効 無効

ファイル名: C:\powermgr\upslog

記録期間: 1 ヶ月間

(注)変更された場合は、サービスを再起動してください

OK キャンセル

- **UPS監視時間間隔:**
UPSの状態を監視する時間間隔を設定します。デフォルトは900秒です。10秒単位で指定してください。
- **ログの記録:**
ログを記録するとき「有効」に、記録しないとき「無効」に設定します。
- **ファイル名:**
ログを記録するファイル名が表示されます。変更はできません。
- **記録期間:**
ログの記録期間を設定します。この記録期間を超えた古いログは削除されます。ログの記録期間の単位は下記が設定できます。
「日間」 : 指定日数分のデータ以外を削除
「週間」 : 指定週数分のデータ以外を削除
「ヶ月間」 : 指定月数分のデータ以外を削除
「年間」 : 指定年数分のデータ以外を削除
「レコード」 : 無効(データは削除されません)

ページが表示されました 信頼済みサイト 100%

「5. スケジュール運転」 - 「○スケジュール設定のルール」の項

スケジュール設定のルール

週間・年間スケジュール
 ○終了と起動を対で入力してください。
 ○同日に終了が先、起動が後になる設定は行わないでください。

単一スケジュール
 ○終了のみで入力するか、終了が先で起動が後の対で入力してください。

優先度
 ○スケジュールの優先順位は、単一スケジュールが最優先で、
 1. 単一スケジュール > 2. 年間スケジュール > 3. 週間スケジュール の順です。
 ○日々の高優先のスケジュールパターンが実行されます。
 <例>12月29日月曜日に単一を追加設定した場合

週間	日	月	火	水	木	金	土
	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00
年間		12/29(月) 10:00 18:00	12/30(火) xxxx	12/31(水) xxxx	1/1(木) xxxx	1/2(金) 09:00 21:00	1/3(土)
単一		12/29(月) 15:00					1/3(土) 10:00

↓

日	12/29(月)	12/30(火)	12/31(水)	1/1(木)	1/2(金)	1/3(土)
08:00 21:00	10:00 15:00					10:00 21:00

ページが表示されました 信頼済みサイト 100%

「5. スケジュール運転」 - 「○スケジュール設定のルール」の項

スケジュール設定のルール

週間・年間スケジュール
 ○終了と起動を対で入力してください。
 ○同日に終了が先、起動が後になる設定は行わないでください。

単一スケジュール
 ○終了が先で起動が後の対で入力してください。

優先度
 ○スケジュールの優先順位は、単一スケジュールが最優先で、
 1. 単一スケジュール > 2. 年間スケジュール > 3. 週間スケジュール の順です。
 ○日々の高優先のスケジュールパターンが実行されます。
 <例>12月29日月曜日に単一を追加設定した場合

週間	日	月	火	水	木	金	土
	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00
年間		12/29(月) 10:00 18:00	12/30(火) xxxx	12/31(水) xxxx	1/1(木) xxxx	1/2(金) 09:00 21:00	1/3(土)
単一		12/29(月) 15:00					1/3(土) 10:00

↓

日	12/29(月)	12/30(火)	12/31(水)	1/1(木)	1/2(金)	1/3(土)
08:00 21:00	10:00 15:00					10:00 21:00

ページが表示されました 信頼済みサイト 100%

「5. スケジュール運転」－「○スケジュールの例外処理」の項

スケジュール運転 - Windows Internet Explorer

file:///Z:/SB2設/SB2設3G/UPS/(情報)UPSマニュアル/2012年2月時点/PMHN/CT

スケジュール運転

スケジュールの例外処理

スケジュール運転中に、スケジュールと関係なくシステムを起動または停止したい場合の処置を説明します。

●スケジュール運転中の臨時停止
週間スケジュール、年間スケジュールで設定されたスケジュールで運転中に、臨時的停止をしたい場合は単一スケジュールを用いてください。

注意 単一スケジュール以外の方法で停止すると次回スケジュール起動できません。

●スケジュール停止中の起動
UPS前面パネルの「運転」ボタンを数秒押し、UPSは給電を開始します。

注意 スケジュール停止中の時刻にUPSを起動した場合、14分後にコンピュータがシャットダウンしUPSが停止します。

スケジュール例:
① 終了時刻 金曜日 21:00
② 起動時刻 月曜日 08:00
③ 手動起動 土曜日 13:00

① 起動中
② 停止中
③ 手動起動
14分後にシャットダウンされます。
終了時刻 土曜日 13:15
起動時刻 月曜日 08:00

ページが表示されました 信頼済みサイト 100%

「5. スケジュール運転」－「○スケジュールの例外処理」の項

スケジュール運転 - Windows Internet Explorer

file:///Z:/SB2設/SB2設3G/UPS/(情報)UPSマニュアル/PMHN_VMwareESXi5.0ut対応版/改訂版マニュアル

スケジュール運転

スケジュールの例外処理

スケジュール運転中に、スケジュールと関係なくシステムを起動または停止したい場合の処置を説明します。

●スケジュール運転中の臨時停止
週間スケジュール、年間スケジュールで設定されたスケジュールで運転中に、臨時的停止をしたい場合は単一スケジュールを設定するかまたは、upshutコマンドにて停止してください。
upshutコマンドの使用方法は、「[コンピュータを手動で停止する方法](#)」を参照ください。

注意 単一スケジュールまたは、upshutコマンド以外の方法で停止すると次回スケジュール起動できません。

●スケジュール停止中の起動
UPS前面パネルの「運転」ボタンを数秒押し、UPSは給電を開始します。

注意 スケジュール停止中の時刻にUPSを起動した場合、14分後にコンピュータがシャットダウンしUPSが停止します。

スケジュール例:
① 終了時刻 金曜日 21:00
② 起動時刻 月曜日 08:00
③ 手動起動 土曜日 13:00

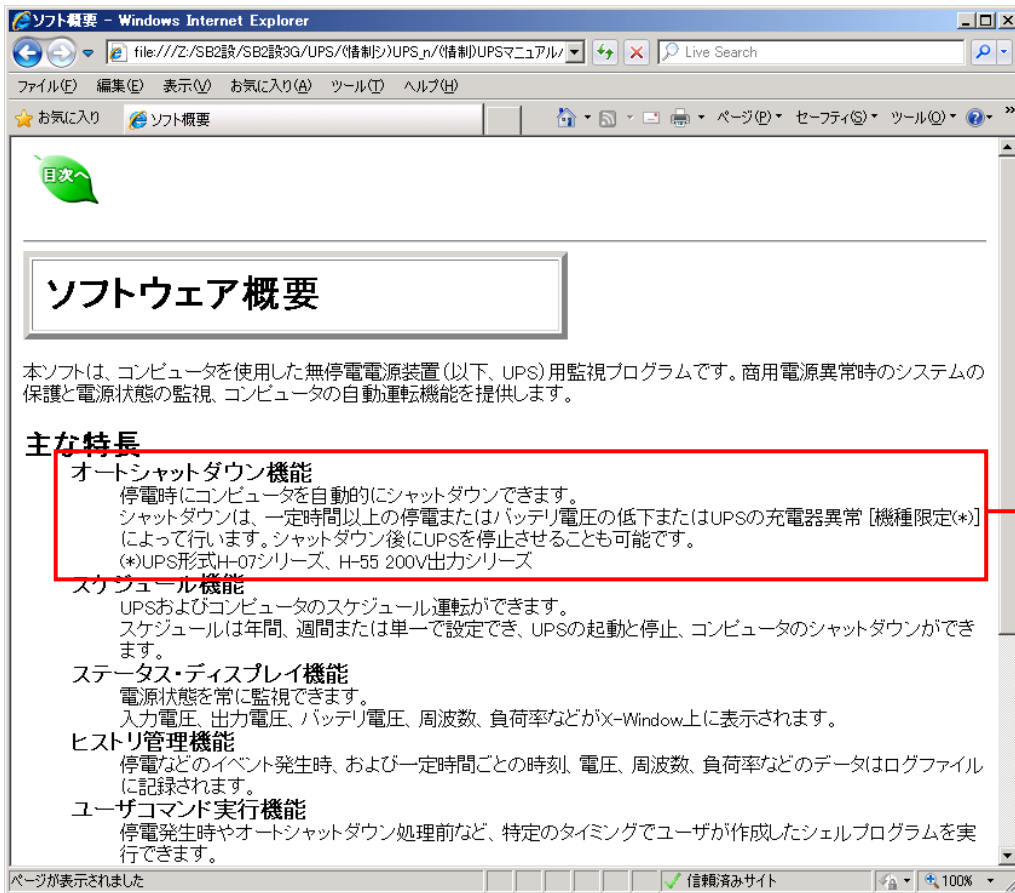
① 起動中
② 停止中
③ 手動起動
14分後にシャットダウンされます。
終了時刻 土曜日 13:15
起動時刻 月曜日 08:00

ページが表示されました 信頼済みサイト 100%

2. ユーザーズガイド (UNIX 版)

誤

「ソフトウェア概要」の項



目次へ

ソフトウェア概要

本ソフトは、コンピュータを使用した無停電電源装置 (以下、UPS) 用監視プログラムです。商用電源異常時のシステムの保護と電源状態の監視、コンピュータの自動運転機能を提供します。

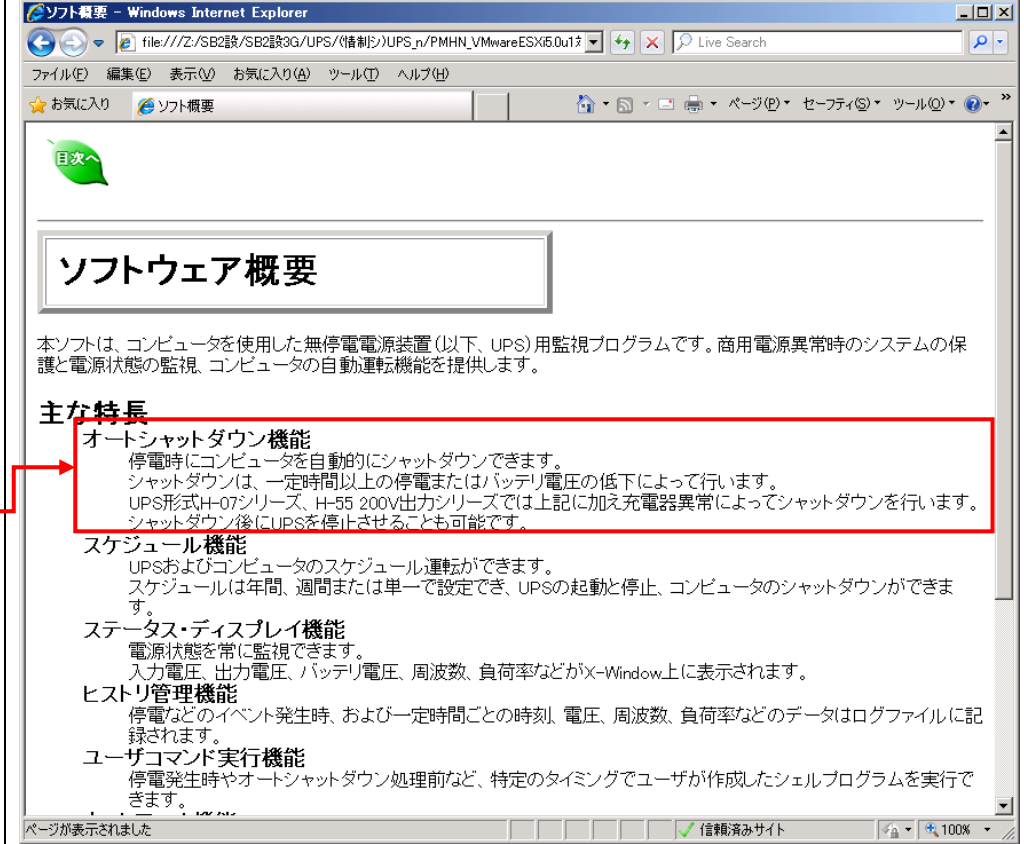
主な特長

- オートシャットダウン機能**
停電時にコンピュータを自動的にシャットダウンできます。
シャットダウンは、一定時間以上の停電またはバッテリー電圧の低下またはUPSの充電器異常 [機種限定(*)] によって行います。シャットダウン後にUPSを停止させることも可能です。
(*)UPS形式H-07シリーズ、H-55 200V出力シリーズ
- スケジュール機能**
UPSおよびコンピュータのスケジュール運転ができます。
スケジュールは年間、週間または単一で設定でき、UPSの起動と停止、コンピュータのシャットダウンができます。
- ステータス・ディスプレイ機能**
電源状態を常に監視できます。
入力電圧、出力電圧、バッテリー電圧、周波数、負荷率などがX-Window上に表示されます。
- ヒストリ管理機能**
停電などのイベント発生時、および一定時間ごとの時刻、電圧、周波数、負荷率などのデータはログファイルに記録されます。
- ユーザコマンド実行機能**
停電発生時やオートシャットダウン処理前など、特定のタイミングでユーザが作成したシェルプログラムを実行できます。

ページが表示されました 信頼済みサイト 100%

正

「ソフトウェア概要」の項



目次へ

ソフトウェア概要

本ソフトは、コンピュータを使用した無停電電源装置 (以下、UPS) 用監視プログラムです。商用電源異常時のシステムの保護と電源状態の監視、コンピュータの自動運転機能を提供します。

主な特長

- オートシャットダウン機能**
停電時にコンピュータを自動的にシャットダウンできます。
シャットダウンは、一定時間以上の停電またはバッテリー電圧の低下によって行います。
UPS形式H-07シリーズ、H-55 200V出力シリーズでは上記に加え充電器異常によってシャットダウンを行います。シャットダウン後にUPSを停止させることも可能です。
- スケジュール機能**
UPSおよびコンピュータのスケジュール運転ができます。
スケジュールは年間、週間または単一で設定でき、UPSの起動と停止、コンピュータのシャットダウンができます。
- ステータス・ディスプレイ機能**
電源状態を常に監視できます。
入力電圧、出力電圧、バッテリー電圧、周波数、負荷率などがX-Window上に表示されます。
- ヒストリ管理機能**
停電などのイベント発生時、および一定時間ごとの時刻、電圧、周波数、負荷率などのデータはログファイルに記録されます。
- ユーザコマンド実行機能**
停電発生時やオートシャットダウン処理前など、特定のタイミングでユーザが作成したシェルプログラムを実行できます。

ページが表示されました 信頼済みサイト 100%

「1. インストール」－「コンピュータとUPSの接続」の項

インストール - Windows Internet Explorer
file:///Z:/SB2設/3G/UPS/(情制シ)UPS_n/(情制)UPSマニュアル/2012

コンピュータとUPSの接続

1. コンピュータおよびUPSの電源を切ります。
2. コンピュータの電源コードをUPS背面の出力コンセントに接続します。
3. UPSの10Base-Tコネクタにネットワークケーブルを接続します。(中継器のネットワークは、10BASE-Tに対応している必要があります。)

注意 インストール前の確認事項
DNSサーバ等で名前解決が行える環境になっていることを確認してください。
hostsファイルによる名前解決を行う場合は「[名前解決の設定方法](#)」を参照してください

注意 AIX LPAR 構成時の注意事項
AIX LPAR 構成にインストールする場合、次の設定を有効にしてください。
ハードウェア・メンテナンス・コンソールの「管理システムプロパティポリシー」の設定。
「Power off the system after all the logical partitions are powered off.」(有効)

注意 HP9000のEthernetインタフェースは終端抵抗を内蔵していません。
HPワークステーション単体で使用する場合は、ネットワーク機器(HUBなど)に接続するか
ネットワーク機能を使用しない設定でインストールしてください。
ネットワーク機能を使用しない設定でインストールした場合は、機能制限がありますので
「[ネットワーク機能を使用しない設定でインストールした場合の制限事項](#)」を参照してください。

注意 RedHat Enterprise Linux 6 (x86_64版)へインストールする場合は、
「[RedHat Enterprise Linux 6 \(x86_64版\)使用時の制限事項](#)」を参照してください。

注意 「ネットワーク機能を使用しない」設定とは、本ソフトのネットワーク機能の一部を使用しないことを示します。
本ソフトをインストールしたコンピュータのネットワークが使用できなくなるものではありません。

インストールプログラムのコピー

CD-ROMからプログラムを、以下の手順でコンピュータの「/usr」ディレクトリにコピーします。

信頼済みサイト 100%

「1. インストール」－「コンピュータとUPSの接続」の項

インストール - Windows Internet Explorer
file:///Z:/SB2設/3G/UPS/(情制シ)UPS_n/(情制)UPSマニュアル/2012

コンピュータとUPSの接続

1. コンピュータおよびUPSの電源を切ります。
2. コンピュータの電源コードをUPS背面の出力コンセントに接続します。
3. UPSの10Base-Tコネクタにネットワークケーブルを接続します。(中継器のネットワークは、10BASE-Tに対応している必要があります。)

注意 インストール前の確認事項
DNSサーバ等で名前解決が行える環境になっていることを確認してください。
hostsファイルによる名前解決を行う場合は「[名前解決の設定方法](#)」を参照してください

注意 AIX LPAR 構成時の注意事項
AIX LPAR 構成にインストールする場合、次の設定を有効にしてください。
ハードウェア・メンテナンス・コンソールの「管理システムプロパティポリシー」の設定。
「Power off the system after all the logical partitions are powered off.」(有効)

注意 HP9000のEthernetインタフェースは終端抵抗を内蔵していません。
HPワークステーション単体で使用する場合は、ネットワーク機器(HUBなど)に接続するか
ネットワーク機能を使用しない設定でインストールしてください。
ネットワーク機能を使用しない設定でインストールした場合は、機能制限がありますので
「[ネットワーク機能を使用しない設定でインストールした場合の制限事項](#)」を参照してください。

注意 RedHat Enterprise Linux 6 (x86_64版)へインストールする場合は、
「[RedHat Enterprise Linux 6 \(x86_64版\)使用時の制限事項](#)」を参照してください。

注意 「ネットワーク機能を使用しない」設定とは、本ソフトのネットワーク機能の一部を使用しないことを示します。
本ソフトをインストールしたコンピュータのネットワークが使用できなくなるものではありません。

追加 本ソフトウェアがUPSとの通信に使用可能なIPアドレスが複数ある場合は、使用するIPアドレスはオペレーティングシステムが任意に決定します。
オペレーティングシステムが任意に決定した複数のIPアドレスを使用して、本ソフトウェアがUPSと通信を行ってしまうとUPS側で不定ホストが発生します。
UPSは不定ホストが存在すると、停電時やスケジュール停止の際のUPS出力停止が正常に動作しません。
コンピュータにはUPSと通信可能なIPアドレスが1つとなるようにネットワークを構築する必要があります。

信頼済みサイト 100%

「3. 動作条件の設定 (GUI 環境編)」 - 「動作環境(Op Cond)」の項

動作条件の設定 - Windows Internet Explorer

file:///Z:/SB2設/SB2設3G/UPS/(情制シ)UPS_n/(情制)UPSマニュアル/2012年

監視コミュニティ(Monitoring Community) ※システムリポートが必要
PowerMonitorHNが使用する監視用コミュニティ名を設定します。
※UPS側の監視用コミュニティ名は「pwrmon」で固定ですので、デフォルトから変更しないでください。

ネットワークインタフェース名 (Network Interface Name) ※システムリポートが必要
ネットワークのインタフェース名を指定します。

ログファイル名 (Log File Name) ※システムリポートが必要
ログファイルのパスを指定します。マルチUPS対応版PowerMonitorHNをインストールして使用する場合は、「マルチUPS環境設定」の「tty-list」の「設定値」で指定した数(1~8)に対応して、デフォルトのパスの場合、下記のログファイルが作成されます。

```

/usr/ups/log/upslog1 (監視対象UPS1のログファイル)
/usr/ups/log/upslog2 (監視対象UPS2のログファイル)
.....
/usr/ups/log/upslog8 (監視対象UPS8のログファイル)

```

ログの記録期間 (Log Record Period) ※システムリポートが必要
ログの記録期間を設定します。単位は「year」「month」「week」「day」「record」「rotate」が選択できます。「rotate」を指定すると、1ヶ月サイズのログファイルが、インデックス付きで指定ローテーション数だけ作られます。

シャットダウンスクリプト (Shutdown Script)
スクリプトファイルのパスを指定します。[スクリプトの編集]ボタンをクリックすると、エディタが起動してスクリプトファイルの編集ができます。

MEMO スクリプトについては、「スクリプト」を参照してください。

実行レベル (Execute Level)
スクリプトの実行レベルを指定します。1~7が選択できます。1~7の範囲外の値では正常に動作しません。

ステータスのブロードキャスト (Status Broadcast) ※システムリポートが必要

ページが表示されました 信頼済みサイト 100%

「3. 動作条件の設定 (GUI 環境編)」 - 「動作環境(Op Cond)」の項

動作条件の設定 - Windows Internet Explorer

Z:/SB2設/SB2設3G/UPS/(情制シ)UPS_n/PMHN_VMwareESX/5.0u1対応版#改

監視コミュニティ(Monitoring Community) ※システムリポートが必要
PowerMonitorHNが使用する監視用コミュニティ名を設定します。
※UPS側の監視用コミュニティ名は「pwrmon」で固定ですので、デフォルトから変更しないでください。

ネットワークインタフェース名 (Network Interface Name) ※システムリポートが必要
ネットワークのインタフェース名を指定します。

ログファイル名 (Log File Name) ※システムリポートが必要
ログファイルのパスを指定します。マルチUPS対応版PowerMonitorHNをインストールして使用する場合は、「マルチUPS環境設定」の「tty-list」の「設定値」で指定した数(1~8)に対応して、デフォルトのパスの場合、下記のログファイルが作成されます。

```

/usr/ups/log/upslog1 (監視対象UPS1のログファイル)
/usr/ups/log/upslog2 (監視対象UPS2のログファイル)
.....
/usr/ups/log/upslog8 (監視対象UPS8のログファイル)

```

ログの記録期間 (Log Record Period) ※システムリポートが必要
ログの記録期間を設定します。単位は「year」「month」「week」「day」「record」「rotate」が選択できます。「rotate」を指定すると、1ヶ月サイズのログファイルが、インデックス付きで指定ローテーション数だけ作られます。
下記に「ログ記録期間=3 rotate」とした時の例を示します。

```

upslog1 ←当月分のログデータファイル
upslog1.1 ←先月分のログデータファイル
upslog1.2 ←先々月分のログデータファイル
upslog1.3 ←3ヶ月前のログデータファイル

```

3ヶ月を過ぎたデータは削除されます。
「record」を指定すると、1レコード単位でのログの記録期間の指定が可能です。
仮に、ログの記録期間を10とした場合は、ログファイルの更新タイミング(約1日半)で、最新の10レコードを残して削除されます。

シャットダウンスクリプト (Shutdown Script)
スクリプトファイルのパスを指定します。[スクリプトの編集]ボタンをクリックすると、エディタが起動してスクリプトファイルの編集ができます。

ページが表示されました 信頼済みサイト 100%

「3. 動作条件の設定 (GUI 環境編)」 - 「メール(Mail)」の項

送信タイミング	電子メールの送信メッセージ	メッセージ(英語)
停電発生時 multi-ups.confのshutdown-condで設定した数以上のUPSが停電した時	“停電が発生しました。”	“Power fail.”
シャットダウン時	“シャットダウンします。”	“System shutdown now.”
復電時 停電確認時間内に停電発生条件が解消された時	“復電しました。”	“Restoration...”
回復不能とみなされた時	“シャットダウンします。”	“Failed to restore.”
スケジュール運転での停止時	“スケジュール停止時刻になりました。シャットダウンします。”	“Shutdown by scheduler.”
UPSと通信できない時 multi-ups.confのcomm-err-condで設定した数以上のUPSと通信できない時(稼働中、起動時)	“通信エラーが発生しました。”	“Communication error.”
UPSに障害が発生した時 multi-ups.confのalarm-condで設定した数以上のUPSが故障した時	“UPS異常が発生しました。”	“UPS trouble.”
初期化エラー時 multi-ups.confのstartup-condで設定した起動判定条件に満たない時	“UPSの初期化に失敗しました。”	“Failed to Initialize UPS.”
20日以上連続運転時(20日毎)	“UPSサービスは正常に動いています。”	“UPS is running OK.”

※multi-ups.confの設定値は「マルチUPS環境設定」を参照してください。

電子メール送信 (Send E-Mail)
電子メールを送信するかどうかを、設定します。有効にすれば、電子メールが送信されます。

SMTPサーバアドレス (SMTP Server Address)

「3. 動作条件の設定 (GUI 環境編)」 - 「メール(Mail)」の項

送信タイミング	電子メールの送信メッセージ	メッセージ(英語)
停電発生時 multi-ups.confのshutdown-condで設定した数以上のUPSが停電した時	“停電が発生しました。”	“Power fail.”
シャットダウン時	“シャットダウンします。”	“System shutdown now.”
復電時 停電確認時間内に停電発生条件が解消された時	“復電しました。”	“Restoration...”
回復不能とみなされた時	“シャットダウンします。”	“Failed to restore.”
スケジュール運転での停止時	“スケジュール停止時刻になりました。シャットダウンします。”	“Shutdown by scheduler.”
UPSと通信できない時 multi-ups.confのcomm-err-condで設定した数以上のUPSと通信できない時(稼働中、起動時)	“通信エラーが発生しました。”	“Communication error.”
UPSに障害が発生した時 multi-ups.confのalarm-condで設定した数以上のUPSが故障した時	“UPS異常が発生しました。”	“UPS trouble.”
初期化エラー時 multi-ups.confのstartup-condで設定した起動判定条件に満たない時	“UPSの初期化に失敗しました。”	“Failed to Initialize UPS.”
20日以上連続運転時(20日毎)	“UPSサービスは正常に動いています。”	“UPS is running OK.”
故障リセット時	“UPS異常が解除されました。”	“UPS trouble restored.”

※multi-ups.confの設定値は「マルチUPS環境設定」を参照してください。

電子メール送信 (Send E-Mail)
電子メールを送信するかどうかを、設定します。有効にすれば、電子メールが送信されます。

追加

「4. 動作条件の設定 (CUI 環境編)」 - 「動作環境」の項

ifname (ネットワークインタフェース名) ※システムリポートが必要
ネットワークのインタフェース名を指定します。

upslog (ログファイル名) ※システムリポートが必要
ログファイルのパスを指定します。マルチUPS対応版PowerMonitorHNをインストールして使用する場合は、「[マルチUPS環境設定](#)」の「tty-list」の「設定値」で指定した数(1~8)に対応して、デフォルトのパスの場合、下記のログファイルが作成されます。

```

/usr/ups/log/upslog1 (監視対象UPS1のログファイル)
/usr/ups/log/upslog2 (監視対象UPS2のログファイル)
.....
/usr/ups/log/upslog8 (監視対象UPS8のログファイル)

```

history (ログの記録期間) ※システムリポートが必要
ログの記録期間を設定します。単位は「year」「month」「week」「day」「record」「rotate」のいずれかを入力します。「rotate」を指定すると、1ヶ月サイズのログファイルが、インデックス付きで指定ローテーション数だけ作られます。

upsrc (シャットダウンスクリプト)
スクリプトファイルのパスを指定します。

MEMO
スクリプトについては、「[スクリプト](#)」を参照してください。

商用電源: 停電 → 復電 → 停電 → 停止

UPS出力: 停電確認時間(30秒) → 正常運転 → 停電確認時間(30秒) → 遅延時間(30秒) → シャットダウン → シャットダウン処理 → 自動停止時間

本ソフト: ③ → ⑤ → ③ → ② → ①

「4. 動作条件の設定 (CUI 環境編)」 - 「動作環境」の項

3.ifname (ネットワークインタフェース名) ※システムリポートが必要
ネットワークのインタフェース名を指定します。

4.upslog (ログファイル名) ※システムリポートが必要
ログファイルのパスを指定します。マルチUPS対応版PowerMonitorHNをインストールして使用する場合は、「[マルチUPS環境設定](#)」の「tty-list」の「設定値」で指定した数(1~8)に対応して、デフォルトのパスの場合、下記のログファイルが作成されます。

```

/usr/ups/log/upslog1 (監視対象UPS1のログファイル)
/usr/ups/log/upslog2 (監視対象UPS2のログファイル)
.....
/usr/ups/log/upslog8 (監視対象UPS8のログファイル)

```

5.history (ログの記録期間) ※システムリポートが必要
ログの記録期間を設定します。単位は「year」「month」「week」「day」「record」「rotate」のいずれかを入力します。「rotate」を指定すると、1ヶ月サイズのログファイルが、インデックス付きで指定ローテーション数だけ作られます。下記に「ログ記録期間=3 rotate」とした時の例を示します。

```

upslog1 ← 当月分のログデータファイル
upslog1.1 ← 先月分のログデータファイル
upslog1.2 ← 先々月分のログデータファイル
upslog1.3 ← 3ヶ月前のログデータファイル

```

3ヶ月を過ぎたデータは削除されます。「record」を指定すると、1レコード単位でのログの記録期間の指定が可能です。仮に、ログの記録期間を10とした場合は、ログファイルの更新タイミング(約1日半)で、最新の10レコードを残して削除されます。

6. upsrc (シャットダウンスクリプト)
スクリプトファイルのパスを指定します。

MEMO
スクリプトについては、「[スクリプト](#)」を参照してください。

商用電源: 停電 → 復電 → 停電 → 停止

UPS出力: 停電確認時間(30秒) → 正常運転 → 停電確認時間(30秒) → 遅延時間(30秒) → シャットダウン → シャットダウン処理 → 自動停止時間

本ソフト: ③ → ⑤ → ③ → ② → ①

「4. 動作条件の設定 (CUI 環境編)」 - 「トラップ」の項

snmptrap (SNMPトラップ送信)
 トラップを送信するかどうかを、設定します。「on」にすれば、SNMPv1トラップを送信します。デフォルトは「off」です。
 送信できるトラップは、次の3種類です。

停電時 異常時	enterpriseSpecific(6)	upsTrapOnBattery	33.2.1.0
シャットダウン時 バイパス給電時 故障時		upsTrapAlarmEntryAdded	33.2.3.0
復電時		upsTrapAlarmEntryRemoved	33.2.4.0

community (SNMPコミュニティ)
 SNMPトラップのコミュニティを設定します。

trapto (トラップ送信先)
 送信先のホスト名またはIPアドレスを指定します。最大3か所まで指定できます。

メール

```

Configuration
-----
1.sendmail: off
2.mailserv: (null)
3.mailfrom: (null)
4.mailto: (null)
5.mailups: (null)
6.mailnolog: 0
  
```

You can select item #(1-6) to change value, or
 put [N]ext/[P]rev/[Q]uit command for page operation.
 => █

実際のレイアウトと数値は図と異なることがあります

「4. 動作条件の設定 (CUI 環境編)」 - 「トラップ」の項

1.snmptrap (SNMPトラップ送信)
 トラップを送信するかどうかを、設定します。「on」にすれば、SNMPv1トラップを送信します。デフォルトは「off」です。
 送信できるトラップは、次の3種類です。

停電時 異常時	enterpriseSpecific(6)	upsTrapOnBattery	33.2.1.0
シャットダウン時 バイパス給電時 故障時		upsTrapAlarmEntryAdded	33.2.3.0
復電時		upsTrapAlarmEntryRemoved	33.2.4.0

2.community (SNMPコミュニティ)
 SNMPトラップのコミュニティを設定します。

3.trapto (トラップ送信先)
 送信先のホスト名またはIPアドレスを指定します。最大3か所まで指定できます。
 複数の送信先を指定する場合は、送信先のホスト名またはIPアドレスを"/(カンマ)で区切って指定してください。

メール

```

Configuration
-----
1.sendmail: off
2.mailserv: (null)
3.mailfrom: (null)
4.mailto: (null)
5.mailups: (null)
6.mailnolog: 0
  
```

You can select item #(1-6) to change value, or
 put [N]ext/[P]rev/[Q]uit command for page operation.

実際のレイアウトと数値は図と異なることがあります

「4. 動作条件の設定 (CUI 環境編)」 - 「メール(Mail)」の項

送信タイミング	電子メールの送信メッセージ	メッセージ(英語)
停電発生時 multi-ups.confのshutdown-condで設定した数以上のUPSが停電した時	“停電が発生しました。”	“Power fail.”
シャットダウン時	“シャットダウンします。”	“System shutdown now.”
復電時 停電確認時間内に停電発生条件が解消された時	“復電しました。”	“Restoration...”
回復不能とみなされた時	“シャットダウンします。”	“Failed to restore.”
スケジュール運転での停止時	“スケジュール停止時刻になりました。シャットダウンします。”	“Shutdown by scheduler.”
UPSと通信できない時 multi-ups.confのcomm-err-condで設定した数以上のUPSと通信できない時(稼働中、起動時)	“通信エラーが発生しました。”	“Communication error.”
UPSに障害が発生した時 multi-ups.confのalarm-condで設定した数以上のUPSが故障した時	“UPS異常が発生しました。”	“UPS trouble.”
初期化エラー時 multi-ups.confのstartup-condで設定した起動判定条件に満たない時	“UPSの初期化に失敗しました。”	“Failed to Initialize UPS.”
20日以上連続運転時(20日毎)	“UPSサービスは正常に動いています。”	“UPS is running OK.”

※multi-ups.confの設定値は「マルチUPS環境設定」を参照してください。

sendmail(電子メール送信)
電子メールを送信するかどうかを、設定します。「on」にすれば、電子メールが送信されます。送信されるタイミングは、停電時、シャットダウン、復電時、バイパス給電時、異常時、故障時、初期化エラー時および、監視デモンが、正常に動作していることを知らせるために20日以上連続運転した場合に20日毎にメールが送信さ

「4. 動作条件の設定 (CUI 環境編)」 - 「メール(Mail)」の項

送信タイミング	電子メールの送信メッセージ	メッセージ(英語)
停電発生時 multi-ups.confのshutdown-condで設定した数以上のUPSが停電した時	“停電が発生しました。”	“Power fail.”
シャットダウン時	“シャットダウンします。”	“System shutdown now.”
復電時 停電確認時間内に停電発生条件が解消された時	“復電しました。”	“Restoration...”
回復不能とみなされた時	“シャットダウンします。”	“Failed to restore.”
スケジュール運転での停止時	“スケジュール停止時刻になりました。シャットダウンします。”	“Shutdown by scheduler.”
UPSと通信できない時 multi-ups.confのcomm-err-condで設定した数以上のUPSと通信できない時(稼働中、起動時)	“通信エラーが発生しました。”	“Communication error.”
UPSに障害が発生した時 multi-ups.confのalarm-condで設定した数以上のUPSが故障した時	“UPS異常が発生しました。”	“UPS trouble.”
初期化エラー時 multi-ups.confのstartup-condで設定した起動判定条件に満たない時	“UPSの初期化に失敗しました。”	“Failed to Initialize UPS.”
20日以上連続運転時(20日毎)	“UPSサービスは正常に動いています。”	“UPS is running” 追加
故障リセット時	“UPS異常が解除されました。”	“UPS trouble restored.”

※multi-ups.confの設定値は「マルチUPS環境設定」を参照してください。

1.sendmail(電子メール送信)
電子メールを送信するかどうかを、設定します。「on」にすれば、電子メールが送信されます。送信されるタイミングは、停電時、シャットダウン、復電時、バイパス給電時、異常時、故障時、初期化エラー時および、監視デ

「4. 動作条件の設定 (CUI 環境編)」 - 「メール(Mail)」の項

動作条件の設定 - Windows Internet Explorer

Z:\S2\2012\201202\UPS\情報\シナ\UPS_r#\情報\UPSマニュアル#2012年2月時...

Live Search

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

お気に入り 動作条件の設定

sendmail (電子メール送信)
電子メールを送信するかどうかを、設定します。「on」にすれば、電子メールが送信されます。送信されるタイミングは、停電時、シャットダウン、復電時、バイパス給電時、異常時、故障時、初期化エラー時および、監視デモンが、正常に動作していることを知らせるために20日以上連続運転した場合に20日毎にメールが送信されます。

mailserv (SMTPサーバアドレス)
電子メールを配信するSMTPサーバを入力してください。ホスト名、IPアドレスどちらでもかまいません。

mailfrom (メール発信者)
メール発信者を入力してください。ここで入力された内容が、受信メールの発信元に表示されます。ただし、メールアドレスの文字数は24文字以内としてください。

mailto (メール受取人)
メールの宛て先を入力してください。3か所までメールを送ることができます。ただし、メールアドレスの文字数は24文字以内としてください。

mailups (添付文字列)
メール本文に付ける識別用の文字列を入力してください。

mailnlog (添付ログ件数)
メール本文に付けるUPSログの件数を入力します。ただし、入力する件数は16件以内としてください。17件以上入力すると正常に動作しません。

MEMO 送信されるメールの詳細内容は、「[メールで送信される内容](#)」を参照してください。

セキュリティの変更画面

信頼済みサイト 100%

「4. 動作条件の設定 (CUI 環境編)」 - 「メール(Mail)」の項

動作条件の設定 - Windows Internet Explorer

Z:\S2\2012\201202\UPS\情報\シナ\UPS_r#\PMHN_VMwareESX6.0u1対応版#改...

Live Search

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

お気に入り 動作条件の設定

1.sendmail (電子メール送信)
電子メールを送信するかどうかを、設定します。「on」にすれば、電子メールが送信されます。送信されるタイミングは、停電時、シャットダウン、復電時、バイパス給電時、異常時、故障時、初期化エラー時および、監視デモンが、正常に動作していることを知らせるために20日以上連続運転した場合に20日毎にメールが送信されます。

2.mailserv (SMTPサーバアドレス)
電子メールを配信するSMTPサーバを入力してください。ホスト名、IPアドレスどちらでもかまいません。

3.mailfrom (メール発信者)
メール発信者を入力してください。ここで入力された内容が、受信メールの発信元に表示されます。ただし、メールアドレスの文字数は24文字以内としてください。

4.mailto (メール受取人)
メールの宛て先を入力してください。3か所までメールを送ることができます。ただし、メールアドレスの文字数は24文字以内としてください。
複数のメール受取人を指定する場合は、メールの宛先を"/,(カンマ)で区切って指定してください。

5.mailups (添付文字列)
メール本文に付ける識別用の文字列を入力してください。

6.mailnlog (添付ログ件数)
メール本文に付けるUPSログの件数を入力します。ただし、入力する件数は16件以内としてください。17件以上入力すると正常に動作しません。

MEMO 送信されるメールの詳細内容は、「[メールで送信される内容](#)」を参照してください。

セキュリティの変更画面

信頼済みサイト 100%

誤

「5. スクリプト」に「スクリプトの編集例」の項追加

```

_send_trap
}

#main routine
PATH=/bin:/sbin:/usr/bin:/usr/sbin:/etc:

#parameters
STATE=$1
OPTION1=$2
OPTION2=$3
OPTION3=${4:-`date+%Y%m%d%H%M`}

#execute
case $STATE in
1)_do_shutdown;;
2)_pre_shutdown;;
3)_detect_power_fail;;
5)_recovered;;
9)_send_trap;;
12)_send_trap;;
13)_send_hello_mail;;
esac

exit 0

```

MEMO スクリプトをカスタマイズする場合、古いバージョンのポーンシェルでは、上記例の関数タイプが使用できないものもあります。

目次へ HELP

正

「5. スクリプト」に「スクリプトの編集例」の項追加

追加

スクリプトの編集例

スクリプトの編集例を下記に示します。
下記例では、rclever:4、rclver:6、rclver:7(赤字部分)を追加しています。

```

#!/bin/sh
#
#
##Header: UPS Shutdown,v 3.0 03/05/27 20:48:17 root Rel40 $ ZIRION NETWORKS;
#
#-----
# # easytrap      ... Send snmp trap to assigned hosts.
# # easytrap -u   ... Send udp trap which can be recognized by xups
#                 beyond some routers.
# # upsmail ... Send mail to assigned hosts.
#
#send snmp trap & E-mail
#
# STATE=1      ... shutdown
# STATE=3      ... power failure
# STATE=5      ... restored
# STATE=6      ... starting-up
# STATE=9      ... other alarms
# STATE=12     ... including 1-6
#
_send_trap()
{
if ["$STATE" = "12"] then

```

「5. スクリプト」に「スクリプトの編集例」の項追加(続き)

```

send_trap()
{
    if [ "$STATE" = "12" ]; then
        STATE=$OPTION2
    fi
    if [ -x INSTALL_DIR/bin/easytrap ]; then
        if [ "$STATE" = "9" ]; then
            INSTALL_DIR/bin/easytrap -t 6 $OPTION2 $OPTION1 >/dev/null 2>&1
        else
            INSTALL_DIR/bin/easytrap $STATE $OPTION1 >/dev/null 2>&1
        fi
    fi
    if [ -x INSTALL_DIR/bin/upsmail ]; then
        INSTALL_DIR/bin/upsmail -sj $STATE $OPTION2 >/dev/null 2>&1
    fi
}

#send hello E-mail
_send_hello_mail()
{
    if [ -x INSTALL_DIR/bin/upsmail ]; then
        INSTALL_DIR/bin/upsmail -sj $STATE $OPTION2 >/dev/null 2>&1
    fi
}

# shutdown process (シャットダウン処理)

```

ページが表示されました 信頼済みサイト 100%

「5. スクリプト」に「スクリプトの編集例」の項追加(続き)

```

# shutdown process (シャットダウン処理)
_do_shutdown()
{
    シャットダウン時に何か処理を入れるときは、こちらにコマンドを入れてください。
    _send_trap
}

#shutdown
SYSNAME=`uname -s`
cd /
if [ "$SYSNAME" = "HI-UX" ]; then
    /etc/shutdown >/dev/console 2>&1
else
    /etc/shutdown -h -y now >/dev/console 2>&1
fi
}

# pre-shutdown process (シャットダウン前処理)
_pre_shutdown()
{
    データベースの終了処理など
    _send_trap
}

# power trouble occurred (停電検知処理)
_detect_power_fail()
{
    ファイルのバックアップ処理など
    _send_trap
}

_recovered()
{
    _send_trap
}

#rclevel4用の処理を追加

```

ページが表示されました 信頼済みサイト 100%

「5. スクリプト」に「スクリプトの編集例」の項追加(続き)

```

#rclevel4用の処理を追加
Sched_stop()
{
    スケジュール停止時の処理をここに記述します。
}

#rclevel6用の処理を追加
StartUPO
{
    スタートアップ時の処理をここに記述します。
}

#rclevel7用の処理を追加
Sched_PreStop()
{
    スケジュール運転での停止時の処理をここに記述します。
}

#main routine
PATH=/bin:/sbin:/usr/bin:/usr/sbin/etc.

#parameters
STATE=$1
OPTION1=$2
OPTION2=$3
OPTION3=${4:-`date+%y%m%d%H%M`}

#execute

```

「5. スクリプト」に「スクリプトの編集例」の項追加(続き)

```

#execute
case $STATE in
1) do_shutdown;;
2) pre_shutdown;;
3) detect_power_fail;;
4) Sched_Stop;;           ←caseに対応したrclevel:4用の呼び出し処理を追加
5) recovered;;
6) StartUp;;             ←caseに対応したrclevel:6用の呼び出し処理を追加
7) Sched_PreStop;;      ←caseに対応したrclevel:7用の呼び出し処理を追加
9) send_trap;;
12) send_trap;;
13) send_hello_mail;;
esac

exit 0

```

MEMO スクリプトをカスタマイズする場合、古いバージョンのポーンシェルでは、上記例の関数タイプが使用できないものもあります。

目次へ HELP

「6. スケジュール運転 (GUI 環境編)」 - 「スケジュール設定のルール」の項

スケジュール設定のルール

週間・年間スケジュール
 ○終了と起動を対で入力してください。
 ○同日に終了が先、起動が後になる設定は行わないでください。

単一スケジュール
 ○終了のみで入力するか、終了が先で起動が後の対で入力してください。

優先度
 ○スケジュールの優先順位は、単一スケジュールが最優先で、
 1.単一スケジュール > 2.年間スケジュール > 3.週間スケジュール の順です。
 ○日々の高優先のスケジュールがターンが実行されます。
 <例>12月29日日曜日に単一を追加設定した場合

週間	日 08:00 21:00	月 08:00 21:00	火 08:00 21:00	水 08:00 21:00	木 08:00 21:00	金 08:00 21:00	土 08:00 21:00
年間		12/29(月) 10:00 18:00	12/30(火) XXXX	12/31(水) XXXX	1/1(木) XXXX	1/2(金) 09:00 21:00	1/3(土)
単一		12/29(月) 15:00					1/3(土) 10:00

日 12/29(月) 12/30(火) 12/31(水) 1/1(木) 1/2(金) 1/3(土)

「6. スケジュール運転 (GUI 環境編)」 - 「スケジュール設定のルール」の項

スケジュール設定のルール

週間・年間スケジュール
 ○終了と起動を対で入力してください。
 ○同日に終了が先、起動が後になる設定は行わないでください。

単一スケジュール
 ○終了が先で起動が後の対で入力してください。

優先度
 ○スケジュールの優先順位は、単一スケジュールが最優先で、
 1.単一スケジュール > 2.年間スケジュール > 3.週間スケジュール の順です。
 ○日々の高優先のスケジュールがターンが実行されます。
 <例>12月29日日曜日に単一を追加設定した場合

週間	日 08:00 21:00	月 08:00 21:00	火 08:00 21:00	水 08:00 21:00	木 08:00 21:00	金 08:00 21:00	土 08:00 21:00
年間		12/29(月) 10:00 18:00	12/30(火) XXXX	12/31(水) XXXX	1/1(木) XXXX	1/2(金) 09:00 21:00	1/3(土)
単一		12/29(月) 15:00					1/3(土) 10:00

日 12/29(月) 12/30(火) 12/31(水) 1/1(木) 1/2(金) 1/3(土)

「8. スケジュール運転 (CUI 環境編)」 - 「スケジュール設定のルール」の項

スケジュール設定のルール

週間・年間スケジュール
 ○終了と起動を対で入力してください。
 ○同日に終了が先、起動が後になる設定は行わないでください。

単一スケジュール
 ○終了のみで入力するか、終了が先で起動が後の対で入力してください。

優先度
 ○スケジュールの優先順位は、単一スケジュールが最優先で、
 1.単一スケジュール > 2.年間スケジュール > 3.週間スケジュール の順です。
 ○日々の高優先のスケジュールパターンが実行されます。
 <例>12月29日月曜日に単一を追加設定した場合

	日	月	火	水	木	金	土
週間	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00
年間		12/29(月) 10:00 18:00	12/30(火) XXXX XXXX	12/31(水) XXXX XXXX	1/1(木) XXXX XXXX	1/2(金) 09:00 21:00	1/3(土)
単一		12/29(月) 15:00					1/3(土) 10:00

スケジュール設定のルール

「8. スケジュール運転 (CUI 環境編)」 - 「スケジュール設定のルール」の項

スケジュール設定のルール

週間・年間スケジュール
 ○終了と起動を対で入力してください。
 ○同日に終了が先、起動が後になる設定は行わないでください。

単一スケジュール
 ○終了が先で起動が後の対で入力してください。

優先度
 ○スケジュールの優先順位は、単一スケジュールが最優先で、
 1.単一スケジュール > 2.年間スケジュール > 3.週間スケジュール の順です。
 ○日々の高優先のスケジュールパターンが実行されます。
 <例>12月29日月曜日に単一を追加設定した場合

	日	月	火	水	木	金	土
週間	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00	08:00 21:00
年間		12/29(月) 10:00 18:00	12/30(火) XXXX XXXX	12/31(水) XXXX XXXX	1/1(木) XXXX XXXX	1/2(金) 09:00 21:00	1/3(土)
単一		12/29(月) 15:00					1/3(土) 10:00

スケジュール設定のルール